

# 高齢者幸福課の設立について

質問(増淵寛江議員) 高齢幸福課の設立について伺います。

答弁(市長) 高齢者幸福課の設立につきましては、長年社会に貢献された高齢者、そのご家族が安心して日常生活を送れるように、医療、福祉、介護の充実を図ることを目的として、高齢者幸福課の新設を行っていききたいと思っております。

高齢者の方々は今日まで数々の時代の変遷を乗り越えて、私たちにすばらしい時代を提供して



介護予防拠点施設としてほほえみセンターの整備を進めます

くれたわけでありませう。そういった方が余生といますか、高齢者になって自分の老後がどうなるかという不安のあるような社会を、私たちが今、次代を担っている者として与えてはならない。そういった部分で、高齢者の方々が自分の福祉サービスを受けるために、窓口が縦割り行政のためにあちらこちらというところで動くよりは、ワンストップサービスと言われているように、一つの窓口に行つて用が足りると

# ほほえみセンターについて

質問(井上雅敏議員) ほほえみセンターについて伺います。

答弁(市長) ほほえみセンターは、高齢者の生きがい対策、閉じこもり予防、さらには筋力向上、トレーニング、栄養改善、口腔ケア事業など保健予防活動を含めた介護予防サービスを提供するため、介護予防拠点施設として市内日常生活圏域ごとに整備を進めてきた施設であります。現在二十カ所のほほえみセンターを設置、運営しております。ほほえみセンター

の平成二十一年度の利用実績については、延べ利用人数三万九千三十七人、延べ開所日数二千八百四十五日となっております。開所日一日平均十四人の利用状況となっております。各ほほえみセンターとも絵手紙や押し花、折り紙などの趣味の講座、輪投げなどの軽スポーツ、食事会や誕生会、さらには血圧測定、口腔ケアなどの健康チェック、与一いきいき体操などを実施し、地域の実情に応じた運営がなされております。

今後の整備計画につきましては、本年度は旧黒羽町役場跡地に(仮称)黒羽高齢者ほほえみセンター及び旧川上小学校跡地に(仮称)川上南方高齢者ほほえみセンターを整備する計画であり、大田原市高齢者福祉計画介護保険事業あんしんプラン第四期計画では平成二十三年度までにさらに二カ所の整備を進める計画であります。ほほえみセンターは、建築物ではありませんが、「通常の箱物」の位置づけとは一線を画して、人に対する施設に位置づけをするものと考えておりますので、積極的にかかわってまいりたいと考えております。

いうような行政サービスの形態というものをつくっていくこともすばらしいことではないかと思ひまして、私はこの高齢者幸福課、子供幸福課の設立をまず真っ先に進めていくことで、行政組織の改革を進めていきたい。そういうふうな考えているところでありませう。優先順位は当然高いものと思つていただきたいと思ひます。

ただ、この行政組織の改革につきましても、議会の皆様方ともよく討論をし、ご提案をいただきながら、すばらしいものをつくってまいりたいと思つております。



高齢者にとって利用しやすい窓口を目指しています